

# 中部防災ニュース

平成25年9月号

発行：中部危機管理局  
藤枝市瀬戸新屋 362-1  
電話：054-644-9104  
ファクス：054-644-9108  
chuubou@pref.shizuoka.lg.jp

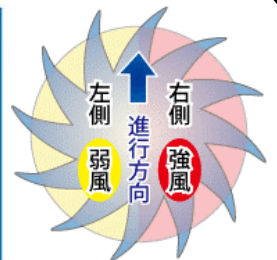
みなさん、9月1日の地域総合防災訓練には参加されましたか？地域の人と『顔の見える関係』を築き、大災害時にも支えあっていきたいですね。ちなみに、テレホンカードが使える公衆電話は『災害時につながりやすい電話』になります。今日、9月11日は『公衆電話の日』です。

## 台風最盛期！

9月は台風のシーズンです。台風の災害を軽減するためには、台風に関する正しい知識を身に付けて備えをしておく必要がありますね。また、テレビやラジオ等の情報を有効活用していきましょう。

### 知識と備えが被害を減らす！

- ・ 台風の進路の右側は特に激しい暴風雨に！
- ・ 外の様子(海・川など)は、絶対に見に行かない！
- ・ 正しい情報を手に入れる！
- ・ 飛ばされそうなものは、早めに固定したり屋内に移動したいする



＜台風の進行方向と風の強さ＞

自宅で、職場で、外出先で、  
あなたに最新の防災情報をお伝えします！

防災情報が発表されると回転灯でお知らせします。

雨量や川の水位の危険度を、赤・黄・青で表示します。

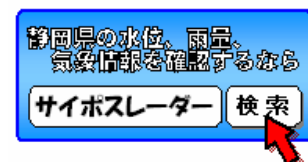
気象注意報・警報や土砂災害警戒情報が発表された市町は色が変わるため、お住まいの地域の危険度が一目瞭然です。

# SIPOS RADAR

サイポスレーダー

## 知っ得情報

静岡県の気象に関する情報は、「サイポスレーダー」を知っているととっても便利！パソコンや、携帯から簡単に気象情報を入手することができます。オススメです！  
今すぐ、こちらにアクセス↓  
[http:// sipos.shizuoka2.jp/](http://sipos.shizuoka2.jp/)





# 要チェック！！

静岡県第4次地震被害想定では、巨大地震による大きな揺れの直後に津波が発生すると想定されています。「地震が発生したとき、どこに逃げたらいいか、迷っている余裕はない！！」沿岸市町では、地域の津波リスクや避難先の情報を公開しています。

**逃げる場所を知っておくことが、生き延びるポイントです！！**

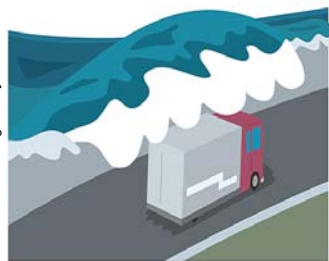
あなたと大切な家族の命を守るため、今すぐチェックしておこう！！

自治体	内 容	URL
静岡県	レベル2の津波の最大浸水深図	<a href="http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/4higaisoutei/shiryou/l2kasane-02.pdf">http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/4higaisoutei/shiryou/l2kasane-02.pdf</a>
静岡市	津波避難ビルや 津波避難地の情報	<a href="http://www.city.shizuoka.jp/000117230.pdf">http://www.city.shizuoka.jp/000117230.pdf</a>
焼津市		<a href="http://www.city.yaizu.lg.jp/g01-007/documents/file0011.pdf">http://www.city.yaizu.lg.jp/g01-007/documents/file0011.pdf</a>
吉田町		<a href="http://www.town.yoshida.shizuoka.jp/disaster/building.asp">http://www.town.yoshida.shizuoka.jp/disaster/building.asp</a>
牧之原市		<a href="http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/bg/bosai_bohan_kotsu/ent/1142.html">http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/bg/bosai_bohan_kotsu/ent/1142.html</a>

## 津波を知って、命を守ろう！！

### 揺れた！＝津波が来る！の徹底

東日本大震災では、『前回の地震のときも津波が来なかったから、今回もどうせ来ないだろう』と考え、避難が遅れたり、人や海の様子を見に行ったりした人の多くが、犠牲になりました。『地震＝津波』この意識が命を救います。



### 大きな声をあげながら、率先避難者に！

東日本大震災の時の『釜石の奇跡』は、1人の中学生が大声で『津波が来るぞ！』と叫び、率先して避難した様子を見て、たくさんの人が逃げ始めました。災害時は、まず自分が率先して避難することが大事です。



### 津波避難タワーや津波避難ビルを知る！

津波避難ビルには、わかりやすい表示がされています。日頃から、沿岸部の津波避難タワーや津波避難ビルの位置を確認しておくことが、いざという時のすばやい避難につながります。



### 安全が確認されるまでは、戻らない

津波は、繰り返し襲ってきます。高いところに避難したら、津波警報が解除されるまでは、決して戻らないようにしましょう。様子を見に戻った人が、犠牲になりました。第1波から数時間経過した後の津波で、犠牲になった人も数多くいました。

